

I hereby certify that this correspondence is being hand delivered to:
Commissioner for Patents, 2011 South Clark Place, Room 1B03, Crystal
Plaza 2, Arlington, Virginia, 22202, on the date shown below.

Dated: October 20, 2003

Signature: _____
(Jeff McCuller)

Docket No.: 371312002200
(PATENT)

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Yukitomo YUHARA

Application No.: Not Yet Assigned

Group Art Unit: Not Yet Assigned

Filed: October 20, 2003

Examiner: Not Yet Assigned

For: COSMETIC CONTAINER

CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS

Commissioner for Patents
2011 South Clark Place
Room 1B03, Crystal Plaza 2
Arlington, Virginia, 22202

Sir:

Applicants hereby claim priority under 35 U.S.C. 119 based on the following prior
foreign applications filed in the following foreign country on the date indicated:

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Date</u>
Japan	2002-304683	October 18, 2002
Japan	2003-304682	October 18, 2002

In support of this claim, a certified copy of the said original foreign application is
filed herewith.

Dated: October 20, 2003

Respectfully submitted,

By 

Barry E. Bretschneider

Registration No.: 28,055

MORRISON & FOERSTER LLP
1650 Tysons Blvd, Suite 300
McLean, Virginia 22102
703-760-7743



Morrison & Forks
371312002200
703-760-7700

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 2 年 1 0 月 1 8 日

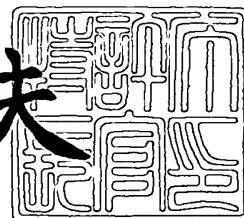
出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 2 - 3 0 4 6 8 3
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 3 0 4 6 8 3]

出 願 人
Applicant(s): 吉田工業株式会社

2 0 0 3 年 9 月 1 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 7 5 9 5 7

【書類名】 特許願

【整理番号】 YOS0314

【提出日】 平成14年10月18日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明の名称】 化粧品容器

【請求項の数】 2

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社
社内

 【氏名】 柚原 幸知

【特許出願人】

 【識別番号】 000160223

 【氏名又は名称】 吉田工業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100094042

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 鈴木 知

【選任した代理人】

 【識別番号】 100071283

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 一色 健輔

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 170842

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 化粧品容器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧品容器において、

上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に重ね合わせて装着される弾性変形可能な交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に、スライドされる該交換用カバーに係止する係止部と、上記蓋体もしくは上記容器本体に設けられ、上記交換用カバーを上記係止部から離脱させるために該交換用カバーの弾性変形を許容する窪み部とを備えたことを特徴とする化粧品容器。

【請求項 2】 前記蓋体もしくは前記容器本体と前記交換用カバーとの間には、該交換用カバーを当該蓋体もしくは容器本体に保持する保持部が設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の化粧品容器。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧品容器に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般に化粧品容器は、化粧料を収納する容器本体と、この容器本体を開いたり閉じたりする蓋体とを備えて構成されている。そして化粧品容器の外観をなすこれら容器本体や蓋体に対しては、そのデザイン性を高めるために、従来からさま

ざまな方法によって加飾が施されている。例えば、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、転写シートを用いて文字や模様などを転写したり、あるいは模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、容器本体や蓋体に装飾を施すようにしていた。

【 0 0 0 3 】

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願 2 0 0 1 - 2 4 9 0 0 0 を出願している。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、従来の化粧料容器にあっては、製品としての化粧料容器を高級感溢れる高い品質で提供するという目的で、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、上記いずれの加飾方法にあっても、容器本体や蓋体に対し加飾部分が一体不可分となるように互いに分離不能に一体的に形成しなければならないという要請があった。

【 0 0 0 5 】

このような要請は反面、化粧料容器の外観が生産者の選定したデザインに限定されることを意味し、購買者が化粧料容器の意匠的外観を、好みに応じて自由に選べるようにすることを妨げていた。このため、購買者は気に入ったデザインの化粧料容器を見つけることができず、これが買い控えの一因になっていたと考えられる。

【 0 0 0 6 】

本発明は上記従来の課題に鑑みて創案されたものであって、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供することを目的とする。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

本発明にかかる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、こ

れらを覆って交換可能に重ね合わせて装着される弾性変形可能な交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に、スライドされる該交換用カバーに係止する係止部と、上記蓋体もしくは上記容器本体に設けられ、上記交換用カバーを上記係止部から離脱させるために該交換用カバーの弾性変形を許容する窪み部とを備えたことを特徴とする。これにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。

【 0 0 0 8 】

また、前記蓋体もしくは前記容器本体と前記交換用カバーの間には、該交換用カバーを当該蓋体もしくは容器本体に保持する保持部が設けられていることを特徴とする。これにより、蓋体もしくは容器本体に係止されるスライド自在な交換用カバーを固定的にしっかりと蓋体に保持することが可能となる。

【 0 0 0 9 】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明にかかる化粧料容器の好適な一実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる化粧料容器 1 は図 1 ～図 5 に示すように、収納凹部 2 が形成された皿状の合成樹脂製容器本体 3 と、容器本体 3 の前後長さ方向後端にヒンジ 4 を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体 3 を開閉するとともに、容器本体 3 の前端にフック 5 を介して係脱自在に係合されて当該容器本体 3 の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体 6 と、蓋体 6 および容器本体 3 の少なくともいずれか一方、図示例にあつては蓋体 6 に着脱自在に重ね合わせて装着され、交換可能に蓋体 6 を覆う弾性変形可能な板体状の合成樹脂製の交換用カバー 7 とから主に構成される。

【 0 0 1 0 】

交換用カバー 7 の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。また、

交換用カバー 7 は容器本体 3 を覆って設けられてもよく、また蓋体 6 および容器本体 3 の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体 3、蓋体 6、並びに交換用カバー 7 は平面外形輪郭が矩形状に形成されているけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体 6 の裏面には、鏡 8 が取り付けられている。

【0011】

フック 5 は、容器本体 3 の前端に形成された凹所 9 内に突設されたフック用突起 10 と、蓋体 6 の前端から垂下されてフック用突起 10 に係脱自在に係合されるフック片 11 とから構成される。またヒンジ 4 は、容器本体 3 の後端から一対突設されたヒンジ片 12 間に、蓋体 6 の後端から垂下させたヒンジブロック 13 が挟み込まれ、これらヒンジブロック 13 からヒンジ片 12 にわたって、容器本体 3 の左右幅方向にヒンジピン 14 が挿入されることで構成される。

【0012】

交換用カバー 7 は、化粧品容器 1、本実施形態にあっては蓋体 6 の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー 7 に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー 7 に対し、一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。

【0013】

さらに詳細に説明すると、交換用カバー 7 は、後端を除いて、その周縁から蓋体 6 に向かって垂下させて垂下部 15 が形成される。垂下部 15 のうち、交換用カバー 7 の左右幅方向の一対の垂下部 15 にはそれぞれ、交換用カバー 7 の前後方向に沿って相当の長さでかつ内側に突出させて、スライド用リブ 16 が形成される。交換用カバー 7 前端の垂下部 15 には、交換用カバー 7 の幅方向に適宜間隔を隔ててかつ内側に突出させて、2 つの保持突起 17 が形成される。

【0014】

また交換用カバー 7 には、その後端から後方へ突出させて、係止片 18 が形成される。係止片 18 の先端には、上向きの凸部 19 が形成される。そして交換用

カバー 7 は、前端および左右の垂下部 15 によって、係止片 18 を備えた後端周辺が蓋体 6 に向かって十分に弾性変形できるようになっている。

【0015】

他方、相当の厚さで板状に形成された蓋体 6 には、後端を除いて、その外周壁 6 a 下端から水平方向外方へ突出させて、交換用カバー 7 の垂下部 15 が載置される鍔部 20 が形成される。また蓋体 6 の後端には、蓋体 6 の幅方向へ左右の鍔部 20 間にわたって、蓋体 6 の上面 6 b から上方へ突出する膨出部 21 が形成され、この膨出部 21 には交換用カバー 7 の後端が当接されるようになっている。同様にして、蓋体 6 前端的な外周壁 6 a には、交換用カバー 7 前端的な垂下部 15 が当接されるようになっている。

【0016】

外周壁 6 a のうち、蓋体 6 の左右幅方向の一对の外周壁 6 a にはそれぞれ、蓋体 6 の前端から後方へ向かって相当の長さでかつ内側に窪ませて、スライド用リブ 16 が挿抜自在に挿入されるスライド用溝 22 が形成され、これらスライド用溝 22 およびスライド用リブ 16 によって、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に、蓋体 6 に対して交換用カバー 7 をスライド自在に係合させるスライド係合部が設けられるようになっている。そしてスライド用リブ 16 は、蓋体 6 の前端からスライド用溝 22 に挿入されて、蓋体 6 の前後方向にスライドされる。これらスライド用リブ 16 とスライド用溝 22 とは、上下方向に互いに抜脱不能にかつ前後方向へスライド可能に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって係合される。

【0017】

また蓋体 6 前端的な外周壁 6 a には、交換用カバー 7 の保持突起 17 と対応する箇所、内側へ窪ませて、当該保持突起 17 が挿抜自在に挿入される保持溝 23 が形成され、これら保持溝 23 と保持突起 17 とによって、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に、交換用カバー 7 を蓋体 6 に保持する保持部が設けられるようになっている。これら保持突起 17 と保持溝 23 にあっても、上下方向に互いに抜脱不能にかつ前後方向へ係脱自在に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって係合される。そして、保持突起 17 は、交換用カバー 7 前端的な垂下部 15 が蓋体 6 前端的な外周壁 6 a に当接されることに応じて、保持溝 23 と係脱自在に係合される

。

【0018】

さらに蓋体6には、交換用カバー7に面するその上面6bの膨出部21側に窪み部24が形成されるとともに、ヒンジブロック13の幅方向中央部にその下端から膨出部21にわたって、当該ヒンジブロック13の背面部13aを残して一連に、窪み部24と連通される縦溝25が形成される。そして窪み部24に向かって開放された縦溝25の上端には、膨出部21の頂面から下向きに突出させて係止突起26が設けられ、これら係止突起26および上記係止片18によって、蓋体6と交換用カバー7との間に、スライドされる当該交換用カバー7を蓋体6に係止する係止部が設けられるようになっている。

【0019】

これら係止突起26と係止片18の凸部19にあつては、交換用カバー7のスライド方向である前後方向に互いに抜脱不能にかつ上下方向に係脱自在に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって係合される。そして、係止片18は、交換用カバー7後端が蓋体6後端の膨出部21に当接されることに応じて、その凸部19が係止突起26の下から潜り込んで係止される。そしてさらに窪み部24は、交換用カバー7に係止突起26から離脱させるために、交換用カバー7と蓋体6との間にスペースSを形成して当該交換用カバー7の押し下げによる弾性変形を許容するようになっている。

【0020】

本実施形態にかかる化粧料容器1の作用について説明すると、化粧料容器1を購入した購買者が蓋体6に装着されている交換用カバー7を、他のデザインの新たな交換用カバー7に交換する際には、まず、窪み部24上に位置する交換用カバー7の後端部分を押し下げて弾性変形させる。このように交換用カバー7を弾性変形させることで、図4に示すように係止片18が係止突起26よりも下方に押し下げられ、これによって係止部による係止が離脱される。

【0021】

この状態で交換用カバー7を前方に向かって引く。交換用カバー7を引くと、スライド用溝22に沿ってスライド用リブ16が移動し、これに伴って図5に示

すように係止片 18 が膨出部 21 から抜き出されるとともに、保持突起 17 も保持溝 23 から離脱されることになり、これにより交換用カバー 7 を蓋体 6 から取り外すことができる。

【0022】

次いで、新たな交換用カバー 7 を蓋体 6 に装着する際には、蓋体 6 の前端からスライド用リブ 16 をスライド用溝 22 に差し込んで、交換用カバー 7 を後方に向かってスライドさせる。交換用カバー 7 の後端が膨出部 21 に達すると、交換用カバー 7 の弾性変形を伴いながら、係止片 18 は係止突起 26 の下に潜り込んで係止され、またこれと同時に保持溝 23 に保持突起 17 が係合されることになり、これとともに交換用カバー 7 の垂下部 15 が蓋体 6 の鍔部 20 上に載置された状態で、交換用カバー 7 の後端および垂下部 15 の前端が蓋体 6 の膨出部 21 および外周壁 6a 前端と当接されて、これにより交換用カバー 7 を蓋体 6 に重ね合わせて装着することができる。

【0023】

以上説明したように本実施形態にかかる化粧料容器 1 にあっては、蓋体 6 にこれを覆って交換可能に重ね合わせて装着される弾性変形可能な交換用カバー 7 と、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に設けられ、蓋体 6 に交換用カバー 7 をスライド自在に係合させる、スライド用リブ 16 とスライド用溝 22 からなるスライド係合部と、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に設けられ、当該蓋体 6 に、スライドされる交換用カバー 7 を係止する、係止片 18 と係止突起 26 とからなる係止部と、蓋体 6 に設けられ、交換用カバー 7 を係止部から離脱させるために交換用カバー 7 の弾性変形を許容する窪み部 24 とを備えたので、交換用カバー 7 を交換することができ、化粧料容器 1 の外観が生産者の選定したデザインに限定されることがなく、化粧料容器 1 として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

【0024】

また交換用カバー 7 としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー 7 から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品として

の化粧料容器 1 を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。

【0025】

また主として、スライド用リブ 16 とスライド用溝 22 とからなるスライド係合部のスライド操作のみで簡単に交換用カバー 7 の脱着操作を行うことができる。また、蓋体 6 と交換用カバー 7 との間に、交換用カバー 7 を当該蓋体 6 に保持する、保持突起 17 と保持溝 23 からなる保持部を設けたので、スライド自在な交換用カバー 7 を固定的にしっかりと蓋体 6 に保持することができる。さらに、スライド用溝 22 とスライド用リブ 16 によって、蓋体 6 と交換用カバー 7 のスライド操作を案内することができて、安定した操作性を確保することができる。

【0026】

また、交換用カバー 7 を弾性変形可能に形成するとともに、その弾性変形を許容する窪み部 24 を蓋体 6 に設けたので、係止突起 26 に対する係止片 18 の係脱操作を容易化することができる。また、係止突起 26 と係止片 18 とを出隅と入隅の関係をもってスライド方向に抜脱不能に係合させたので、この構成からも交換用カバー 7 を蓋体 6 にしっかりと固定することができ、化粧料容器 1 に落下などによる衝撃が作用した場合に、交換用カバー 7 が簡単に脱落してしまうことを防止できる。

【0027】

ところで、容器本体 3、蓋体 6、並びに交換用カバー 7 の平面外形輪郭を多角形状や円形状とした場合には、例えば蓋体 6 の上面 6b にスライド凹溝を形成するとともに、交換用カバー 7 から垂下させてスライド凸条を形成するなどしてスライド係合部を構成すればよい。

【0028】

上述した本実施形態にあっては、蓋体 6 に交換可能にこれを覆う交換用カバー 7 を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体 3 に交換用カバー 7 を設ける場合には、容器本体 3 と交換用カバー 7 との間にスライド係合部や係止部、保持部を設けるようにし、また窪み部 24 は容器本体 3 に設けるようにすればよい。

【0029】

さらに、本実施形態にあつては、ヒンジ4やフック5を備えた化粧料容器1を例示して説明したが、これに限らず、容器本体3に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体6を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

【0030】

【発明の効果】

以上要するに、本発明にかかる化粧料容器にあつては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明にかかる化粧料容器の好適な一実施形態を示す側断面図である。

【図2】

図1の化粧料容器の蓋体の一部破断分解斜視図である。

【図3】

図1の化粧料容器の一部正面断面図である。

【図4】

図1の化粧料容器の交換用カバーを弾性変形させて、係止部から離脱させた状態を示す要部拡大側断面図である。

【図5】

図1の化粧料容器の交換用カバーをスライドさせて、取り外す過程を示す要部拡大側断面図である。

【符号の説明】

- | | | | |
|----|---------|----|--------|
| 1 | 化粧料容器 | 3 | 容器本体 |
| 6 | 蓋体 | 7 | 交換用カバー |
| 16 | スライド用リブ | 17 | 保持突起 |
| 18 | 係止片 | 19 | 凸部 |

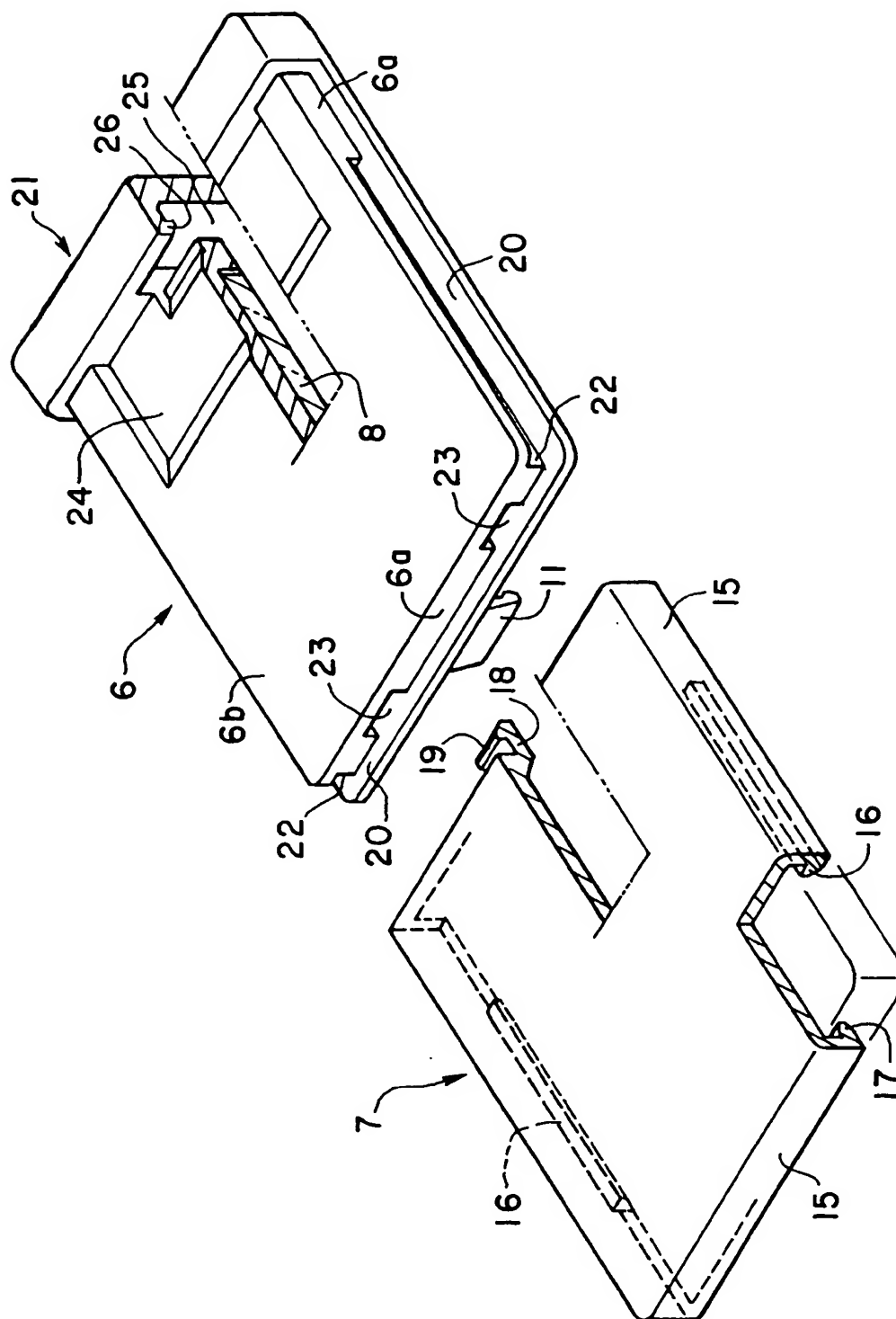
2 2 スライド用溝

2 3 保持溝

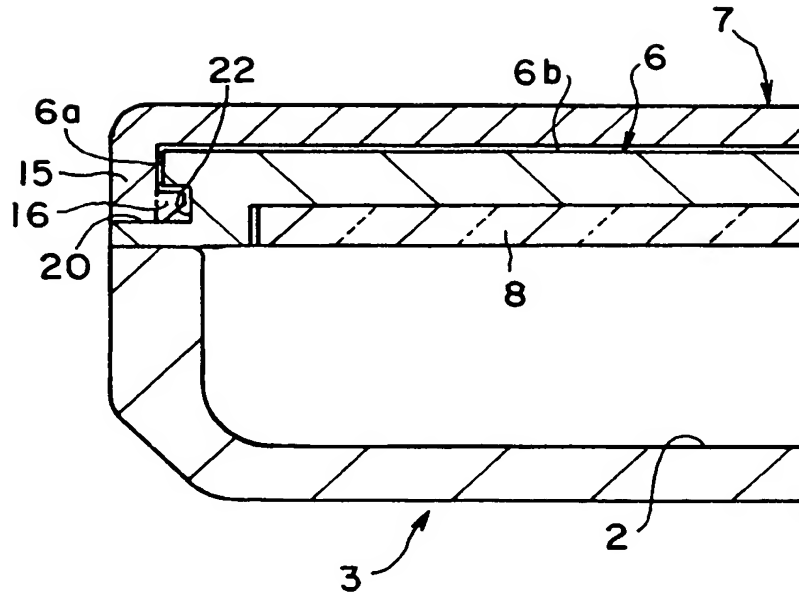
2 4 窪み部

2 6 係止突起

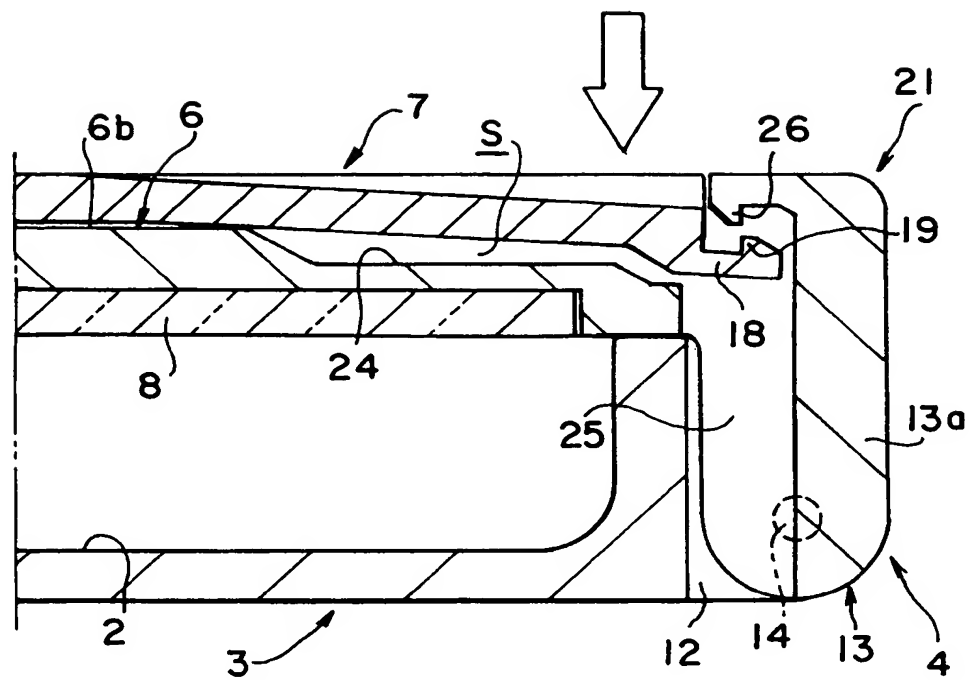
【図 2】



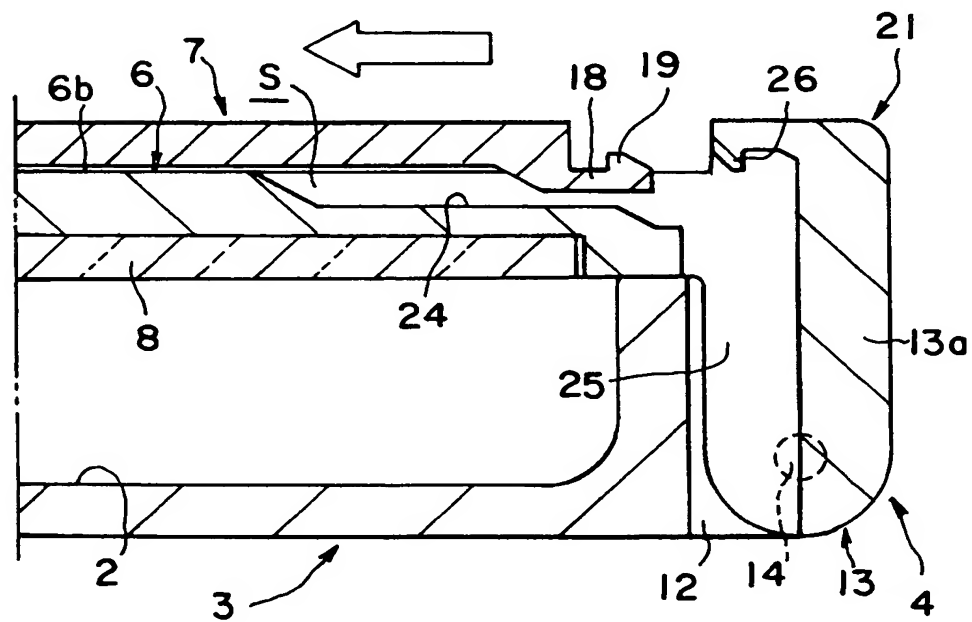
【図 3】



【図 4】



【図 5】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応え、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供する。

【解決手段】 容器本体とこれを開閉する蓋体 6 とを有する化粧料容器において、蓋体にこれを覆って交換可能に重ね合わせて装着される弾性変形可能な交換用カバー 7 と、蓋体と交換用カバーとの間に設けられ、蓋体に交換用カバーをスライド自在に係合させる、スライド用リブ 1 6 とスライド用溝 2 2 からなるスライド係合部と、蓋体と交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体に、スライドされる交換用カバーに係止する、係止片 1 8 と係止突起 2 6 とからなる係止部と、蓋体に設けられ、交換用カバーに係止部から離脱させるために交換用カバーの弾性変形を許容する窪み部 2 4 とを備えた。

【選択図】 図 2



特願 2 0 0 2 - 3 0 4 6 8 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 1 6 0 2 2 3]

1 . 変更年月日

1 9 9 0 年 9 月 1 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都墨田区立花 5 丁目 2 9 番 1 0 号

氏 名

吉田工業株式会社